

令和4年度 第2回碧南市国民健康保険運営協議会 会議録 (要旨)

1 日時 令和4年11月14日(月) 午後1時27分から午後2時2分まで

2 場所 碧南市役所 6階 第2委員会室

3 出席者

(1) 出席者(10名)

高松 好美、杉浦 民生、高橋 富夫、
生田 讓、長田 和久、齋藤 英延、池田 史明
三島 孝二、河原 厚司、榊原 康廣

欠席者(5名)

羽野 彰、鏑本 幹夫、茂木 仁志、山口 みち代、鈴木 将大

(2) 事務局職員

健康推進部長 山田 昌宏、
国保年金課長 石川 素子、
国保年金課課長補佐(国保係長) 小笠原 康夫、
国保係主事 中根 弘樹

4 傍聴者 0人

5 議題

令和5年度碧南市国民健康保険税の税率等の見直しについて

6 会議の状況

議題について、事務局が説明。

<主な意見・質疑>

【A委員】 資料1ページについて、このままでは将来的には赤字市町村になると書いてあります。これを防ぐために令和4年度を契機として令和8年度まで5年間引き上げを行うということですが、これによってこの5年間で赤字市町村にはならないという想定をしているということでしょうか。

また、他の市町村の税制改正の情報も考慮に入れて運営をしていますか。

【事務局】 1点目の質問については、税率を段階的に上げていくことにより、一般会計からの繰り入れは減少する計画をしています。結果として5年後頃には赤字市町村ではなくなる予定で進めています。

2点目については、近隣の西三河の市町については、他市町もまだ標準保険料率と差がある状況です。標準保険料率に近づくように税率の見直しを各市も進めていると聞いています。引き上げの期間、乖離の幅、基金の残高は異なるため単純に比較は難しいですが、他市町村の標準保険料率も確認して進めてい

る状況です。

【A委員】 私はアルバイトをしながら生活をしています。最近買い物に行くと本当に物価高の影響を感じています。それに合わせて、保険料の値上げということで、非常に生活が苦しくなることが目に見えています。税率改正を行わざるを得ないことがよくわかりましたが、なるべく市民の負担を軽減するような方法を模索して行けたらという気持ちが強くありますので、今後よろしくお願いします。

【B委員】 今後は国民健康保険の加入者に対し、社会保険の加入者の割合が増えてくるのではと予測されますが、それによる影響の試算などはされていますか。

【事務局】 社会保険の適用範囲が順次拡大されておりまして、今年の10月から事業所の要件がさらに拡大をされたという状況があります。当市の国民健康保険から社会保険への加入状況については、9月中に異動した方が150人、10月中に異動した方が211人となります。やはり10月1日を境に社会保険に行く方の増加が見られます。こちらの影響については11月中までには皆さん手続きされると思いますので、実態がわかると思います。今のところ加入者が一気に減ることはないだろうと思っています。

国民健康保険の加入者は、社会保険と比べると中高年の方が多く、医療費水準も高く、また所得額に対して保険料も負担率が高いという特徴が構造的にあります。今回の社会保険の適用範囲の拡大は、比較的若くて一定の所得のある方たちが国民健康保険から抜ける状況が予測されるので、この傾向がより強くなる可能性があります。

今のところその影響について、具体的な試算はできていませんが、全国的な動きですので、現時点では特段情報はないですが、国や県において国保財政に対して、何かしらの対策が立てられる可能性があると考えています。